



年 組 名前

道新でワークシート

食べ盛りクマゲラ 巣立ちの夏 美瑛

巣穴に戻った親鳥から、盛んに餌をねだるクマゲラのひな 6月26日、美瑛町

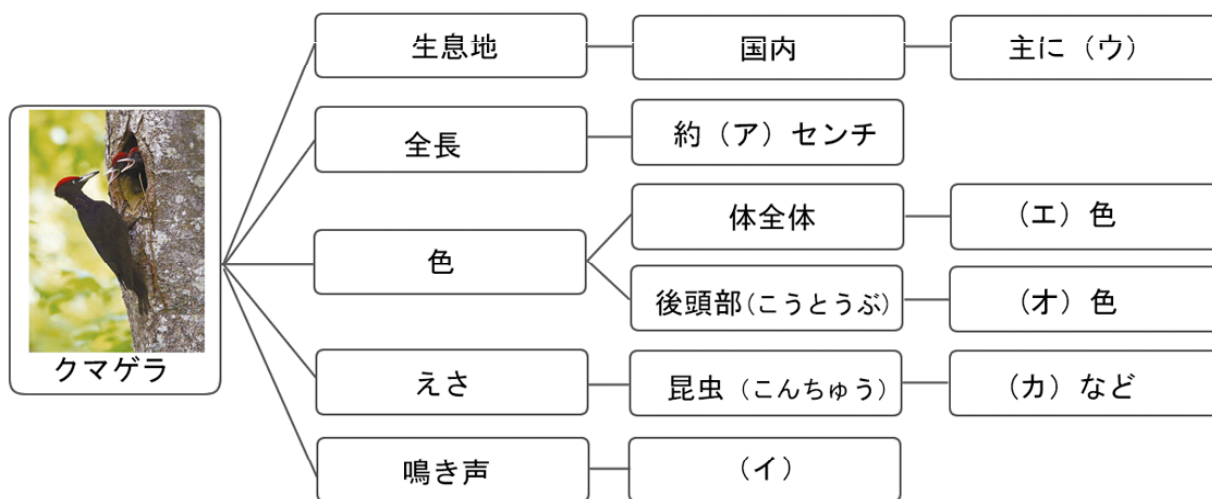


【美瑛】美瑛町の森で2日、国の天然記念物クマゲラのひな3羽が巣立った。親が餌を運んで巣穴に戻るのと、われ先にと顔を出し、口を大きく開けながら元気な姿を見せていた。クマゲラは全長50センチほどの大型のキツツキで、国内では主に北海道に生息する。体全体は黒色で雄は額から後頭部まで赤く、雌は

後頭部のみが赤い。長い舌を器用に使って、アリなどの昆虫を捕る。「キョーン、キョーン」。この特徴的な鳴き声が、親鳥が巣穴に戻る合図。クマゲラは雄と雌が共同で抱卵と子育てを行う。親の愛情をふんだんに受けたひなは、ふ化後、1カ月ほどで無事に独り立ちした。(打田達也、写真も)

2020年7月3日(金)朝刊 地方版(旭川・上川) 15ページ(記事は再編集しています)

①下の図は、クマゲラの特徴(とくちょう)についてまとめたものです。(ア)～(カ)に当てはまる言葉を入れて図を完成(かんせい)させましょう。



(ア) (イ) (ウ)

(エ) (オ) (カ)

②写真の親鳥は、雄(オス)と雌(メス)のどちらでしょうか。